

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道327号 <small>ふるその</small> 古園バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 宮崎県
起終点 自：宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七つ山 至：宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七つ山	延長 3.1km	
事業概要 一般国道327号は、宮崎県日向市を起点とし、熊本県山都町に至る延長約110kmの幹線道路である。古園バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間、及び高さ制限のあるトンネル区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.1kmの2車線道路である。		
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 <small>(H 年度変更)</small>	H10年度用地着手
H10年度工事着手		
全体事業費 87億円 事業進捗率 77% 供用済延長 1.0km		
計画交通量 1,800台/日		
費用対効果分析結果	総費用 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 32 / 94 億円 <small>(事業費：30/91億円)</small> <small>(維持管理費：2.0/2.9億円)</small>	総便益 <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 67 / 113 億円 <small>(走行時間短縮便益：65 / 109億円)</small> <small>(走行費用減少便益：2.0 / 3.7億円)</small> <small>(交通事故減少便益：0.0 / 0.2億円)</small>
基準年 平成18年		
事業の効果等 ・大型車のすれ違い困難箇所を解消し、安全で円滑な交通の確保が見込まれる。 ・災害による集落の孤立を解消し、安全で安心な生活環境の確保が見込まれる。 他11項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 本路線は、沿線地域の人員・物資の輸送、農林業等の産業活動を支える唯一の路線であるため、沿線住民および自治体で構成される入郷地域開発期成同盟会（平成18年8月11日）及び北部広域行政事務組合（平成18年11月8日）による整備促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成16・17年の台風災害による道路寸断のため、孤立する集落が発生している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年度までに1.0kmが部分供用済であり、トンネル2本のうち1本は供用済で、残り1本は現在施工中。また、橋梁6橋のうち3橋は完成し、残り3橋のうち2橋は施工中で、最後の1橋も平成18年度末までに発注予定。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成16・17年の台風災害による災害復旧工事との調整や、急峻な地形条件及び現道幅員狭小による工事の時間規制などが起因し長期化しているが、工事計画そのものは順調であり、平成20年代前半の全線供用を目標に工事を進めている。		
施設の構造や工法の変更等 トンネル法線の見直しにより、トンネル延長が約200m延伸した反面、橋梁1橋(約50m)及び長大法面(直高64m)が省かれる為、コスト縮減となっている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。